

令和3年度事業報告

令和2年1月に国内で確認された新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら依然として拡大を続けている。令和3年度に入り、第四波、第五波、第六波と感染者数は急上昇し、バス事業は令和2年度に引き続き甚大な影響を受けた。

また、延期されていた東京オリンピックが開催されたものの、無観客対応で人の移動に繋がらないばかりか、復調するかに見えた観光や広域移動は感染の波を迎える度に大きく落ち込み、国のGoToトラベル事業や岡山県の観光促進支援策、プレミアム交通券などの公共交通利用促進策が十分な効果を発揮しないままそれらの事業が停止された。

加えて、令和2年度末から上昇を続けていた燃料価格はロシアのウクライナ侵攻による不安定な世界情勢を背景にさらに高騰し、バス事業を取り巻く環境は一段と厳しさを増した。

岡山県バス協会では、新型コロナウイルスへの対応を最重要課題として捉え、国・県・市町村等に対して支援や需要喚起に向けた取組みの支援要望を積極的に行うとともに、コロナ禍における規制要件の緩和措置などの情報提供やバス事業への影響調査などに対応した。併せて、岡山県の運輸事業振興助成補助金による感染防止対策支援など、コロナ禍における利用者の安全安心の確保に直結した取組みを積極的に推進した。また、行政の協力や自治体の支援を受け、乗合バス事業におけるバス停留所の整備やバス利用者へのサービスの向上、定時性確保に向けた渋滞対策をはじめとしたバス利用者の利便性向上に努めた。

貸切バス事業では、旅行需要の回復が一向に進まない状況においても、安全規制強化に対応した安全コストを確保するため、昨年引き続き貸切バス適正化センターへの負担金の助成による会員負担軽減などを行ってきた

安全輸送の確保については、事故防止対策として、国土交通省が新たに策定した「事業用自動車総合安全プラン2025」及び日本バス協会が策定した「バス事業の総合安全プラン2025」に基づく施策を中心に積極的に取り組み、バス事業の信頼回復と安全安心なバス事業の構築に努めた。

これらの取組みの他、令和3年度事業計画に基づき、安全で安定したバス事業が地域公共交通の重要な役割を果たし、地域の方々の期待に応えられるよう行政・関係機関と連携して、様々な取組みを実施した。

1. 年度会員数・その他（令和4年4月1日現在）

①会員数

普通会員 72者（期間中増減 3者減）

②車両数

一般乗合 633両（期間中 36両減）

一般貸切 665両（期間中 53両減）

2. 主な会議

(1) 通常会員総会	1回
(2) 理事会（役員会）	4回
(3) 監事会	1回
(4) 各種委員会等	
①運営委員会	1回
②貸切委員会	2回
③事故防止対策委員会	3回
④運輸事業振興助成補助金運用委員会	1回
⑤バスの日記念事業検討部会	1回（書面）
⑥岡山駅西口バスターミナル運用協議会	2回
⑦岡山駅西口バスセンター運営委員会	2回

〈概要〉

(1) 第46回通常会員総会

令和3年6月14日（月） 岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 令和2年度事業報告(案)及び令和2年度会計報告諸表(案)について
- ② 理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について
- ③ その他
 - ・ 令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算について（報告）

(2) 理事会（役員会）

第1回理事会 令和3年5月26日（水）岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 総会に付議する議案について

【第1号議案】

令和2年度事業報告(案)及び令和2年度会計報告諸表（案）について

【第2号議案】

理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について

- ② 会員総会（6月14日開催）の招集について
- ③ 次期の会長、副会長、専務理事の選任及び理事会の開催について
- ④ その他

第2回理事会 令和3年6月14日（月）岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 会長、副会長、専務理事の選任
- ② 常勤役員報酬について
- ③ その他

・日本バス協会各委員会の委員の推薦

第3回理事会 令和3年11月17日（水）岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 令和3年度上期（4月～9月）事業報告について
- ② 新型コロナウイルス感染拡大に対しての支援要望について
- ③ 上期におけるバス事業の状況について
- ④ その他

・公共交通利用促進について
・燃料価格高騰対策について
・バス運転者確保対策について 他

第4回理事会 令和4年3月17日（木）岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 令和4年度事業計画（案）について
- ② 令和4年度収支予算（案）について
- ③ 令和4年度資金調達及び設備投資の見込について
- ④ その他

(3) 監事会（監事監査）

令和3年5月19日（水）岡山県バス協会 会議室

【監査内容】

- ・令和2年度職務の執行状況について
- ・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度収支決算（計算書類及びその附属明細書等）について

(4) 委員会

- ① 運営委員会

第1回 令和3年12月24日（金）岡山県バス協会 会議室

- ・ハレカカードプレミア率の変更について

- ・燃料価格高騰に関する要望について（報告）
- ・ハレカカード読み取り器の位置の統一について
- ・障害者割引に係る「ミライロID」の取扱いについて
- ・盲ろう者の付き添い2名（介助、通訳）の割引適用について
- ・ハレカハーフの利用促進について
- ・その他

② 貸切委員会

第1回 令和3年8月10日（火）岡山県バス協会 会議室

- ・秋季学校行事への対応について
- ・令和4年度岡山市小学校修学旅行の状況について
- ・おかやまマラソンについて
- ・令和2年度実績について
- ・その他

第2回 令和3年12月2日（木）岡山県バス協会 会議室

- ・観光関係支援要望について
- ・令和4年岡山市小学校修学旅行に対する要望について
- ・持出委員会について
- ・その他

③ 事故防止対策委員会

第1回 ※新型コロナの影響により書面開催

- ・令和3年秋の全国交通安全運動、交通安全県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会報告について
- ・事故報告について
- ・交差点立哨調査結果について
- ・添乗調査について
- ・バスジャック訓練について
- ・夏期の多客期におけるテロ防止対策の徹底について
- ・その他

第2回 令和3年11月30日（火）岡山県バス協会 会議室

- ・令和3年度年末・年始の輸送等に関する安全総点検の実施について
- ・年末年始の交通事故防止県民運動について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・バス添乗調査について
- ・事故報告について
- ・その他

「前照灯の終日点灯」の実施について

年末年始輸送安全総点検ポスターについて

第3回 令和4年3月25日（金）岡山県バス協会 会議室

- ・令和4年春の全国交通安全運動の実施について
- ・令和4年春の交通安全県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・事故報告について
- ・その他

「前照灯の終日点灯」の実施について

令和4年度事業について

④ 運輸事業振興助成補助金運用委員会

令和3年7月20日（火）岡山県バス協会 会議室

- ・令和3年度岡山県運輸事業振興助成補助金の運用について
- ・その他

⑤ バスの日記念事業検討部会（書面審議）

- ・バスの日の記念事業について
- ・その他

⑥ 岡山駅西口バスターミナル運用協議会

第1回 令和3年10月15日（金）両備バス会議室

- ・運営資金の現況と検証

第2回 令和4年1月11日 書面審議

- ・岡山駅西口バスターミナルへの乗入れ協議について

⑦ 岡山駅西口バスセンター運営委員会（⑥ 第1回に併設）

第1回 令和3年10月15日（金）両備バス会議室

- ・運営資金の現況と検証

第2回 令和4年3月18日（金）岡山県バス協会 会議室

- ・令和4年度西口バスセンター予算（案）について
- ・借入金の返済について
- ・防犯カメラの設置について
- ・その他

3. 業務の概要

（1）バス輸送改善事業

バス輸送の改善を図るため、倉敷駅南口及び北口バス路線図案内板の改修整備をはじめ県内各所のバス停留所整備を行うとともに、ノンステップバス

等の導入促進や利用者への運行情報提供を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大に対応した感染防止対策事業として消毒用エタノールや感染対策PR動画を配付するなど、輸送環境の改善及び輸送サービス改善等のため主に以下の事業を実施した。

ア. 岡山駅東口バスターミナルの運行状況をデジタルサイネージで表示する『えきバス時刻表』（岡山駅東西通路の新幹線改札口及び在来線中央改札口と駅東口バス案内所側面に岡山市が設置）の管理運営を行い、遅延情報等も含めた運行情報の提供により、利用者の利便向上を図った。（交付金事業）

イ. 岡山駅西口バスターミナルを発着する、高速バス、空港リムジンバス、岡山市北西方面路線バス及び貸切観光バスの乗降について、安全対策及び利用者サービスの向上を図るため、バスターミナル及び待合所の適切な管理・運営を行った。

ウ. バス停整備等（交付金事業）

- ・バス停上屋修繕・撤去 7カ所
- ・県内バス停標柱新設・補修 33カ所

エ. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、会員事業者に消毒用エタノールの配付を行った。（交付金事業） 402缶

オ. 岡山県バス協会ホームページに新型コロナウイルス対策専用ページに感染拡大防止の取組みやバス関係通達を掲載し、利用者及び会員各社への情報提供に努めた。

カ. 感染拡大防止のため啓発ポスターを作製し、バス車内での飲食を控えることやマスク着用の徹底を利用者に求めた。（交付金事業）

- ・「飲酒・食事をご遠慮ください」 580枚
- ・「マスク着用」 1,100枚

キ. バスの感染防止対策PR動画を作製し、貸切バス事業者に配付するとともに、岡山県バス協会ホームページに掲載し、バスの安全性のPRに努めた。

（交付金事業・日本バス協会事業費） DVD作製 642枚

ク. 感染防止対策のため、ゴミ持ち帰りの協力を求めるエチケット袋を作製し、貸切バス事業者に配付することで利用者に協力を求めた。（交付金事業）

- ・エチケット袋 970,000枚

（2）安全輸送体制の確保

国の定めた「事業用自動車総合安全プラン2025」及び日本バス協会で策定した「バス事業の総合安全プラン2025」に基づき主に次の事業を実施した。

なお、例年2回実施しているバスドライバー研修について、8月は実施したものの、3月に予定していた研修は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

ア. 春、秋の交通安全運動及び年末年始の輸送に関する安全総点検において、事故防止対策委員を中心に、安全運行、事故防止対策等を中国運輸局岡山運輸支局、岡山県警察本部の指導と協力を得て、会員に周知・徹底するとともに、交通安全活動に参画し広く交通安全を働きかけた。(交付金事業)

- ・交通安全のポスターの配付 880枚
- ・交通安全ポケットティッシュの配布 14,200個

イ. バス事故の3割を占める車内事故防止のための「車内事故防止キャンペーン」を7月に実施し、利用者への「ゆとり乗降」の啓発や運転者に対する「ゆとり運転」を呼びかけ、ポスター、チラシ等により啓発活動を行った。

また、貸切バスにおけるシートベルト着用推進のため、シートベルト着用啓発シートを作製し啓発を行った。(交付金事業)

チラシ配布依頼：岡山県トラック協会、岡山県タクシー協会、JAF岡山支部

- ・車内事故防止ポスター（中吊り） 575枚
- ・車内事故防止ポスター（待合等掲示用） 53枚
- ・シートベルト着用啓発シート 24,000枚

ウ. 運行管理者、運転者研修事業（交付金事業）

運行管理業務の適切な実施、運転者の事故防止等を図るための各種講習等受講に助成を行い事故防止に努めた。

- ・運輸安全マネジメント講習 77名
- ・運行管理者等一般講習 337名
- ・運行管理者等基礎講習 67名
- ・運行管理者試験事前講習 2回
- ・運転者適性診断 730名

エ. 健康起因事故防止のため脳ドック・心臓ドック及びSAS簡易検査の助成を行った。(交付金事業)

- ・脳ドック・心臓ドック助成 45名
- ・SAS簡易検査助成 116名

オ. その他安全対策を図るための教材配付等（交付金事業）

- ・安全運転手帳（2022年安全運転のしおり） 2,600冊
- ・運転記録証明交付 1,237名
- ・整備管理者選任後研修資料 100冊

・ドライブレコーダー映像を用いた危険予知トレーニング（バス事業者向け）
130冊

・バス事業者のための初任運転者に対する指導・教育テキスト
540冊

カ. バスジャック・テロ等危機管理体制の構築

令和3年10月6日、岡山県警察本部、中国運輸局岡山運輸支局の協力を得て、路線バスのバスジャックを想定した実践的訓練を実施した。併せて警察官のバス突入訓練を実施し、緊急時に迅速・的確な対応ができるよう協力体制の強化を図った。

なお、今回は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して参加対象を路線バス事業者に限定して実施した。（バス協会関係参加者：8事業者23名）

キ. 路線バスの添乗調査（交付金事業）

乗客の安全性の向上、車内事故防止対策の強化及びサービス体制の促進を図るため、路線バスの運転状況を添乗により調査し、運転者指導を行った。

乗合バス添乗調査 10事業者 84回

ク. 交通安全意識（飲酒運転撲滅、シートベルトの着用等）の高揚を図るべく、県下バス事業者で引き続きラッピングバスの運行を行い、啓発に努めた。

ケ. 貸切バス事業の適正化を図るため、道路運送法の一部を改正する法律に基づき設立された『一般貸切旅客自動車運送適正化機関』へ納付する貸切バス事業者の負担金の一部を助成。（交付金事業） 69事業者

コ. 日本バス協会において、貸切バス事業の安全性に対する取り組み状況について評価・認定し、利用者や旅行者などに情報提供を行う「貸切バス事業者安全性評価認定制度」について、次の取り組みを行った。

なお、「貸切バス事業者安全性評価認定制度説明会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年に引き続き中止となった。

・申請事業者の訪問審査 28事業者

（3）環境対策の推進

ア. 安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となる不正改造車を排除するため、強化月間(6月中)において、排除のための啓発、情報収集、従業員に対する指導、自主点検の実施を行い、積極的に排除に努めた。

イ. 「バスの日記念事業」において、アイドリングストップ運動の推進を図るなどアイドリングストップを推進した。

ウ. エチケット袋を作製し、貸切バス事業者に配付することで利用者に環境対

策に対する理解を求めた。〔再掲〕（交付金事業）

・エチケット袋

970,000枚

（４）バス活性化事業の推進

- ア. 9月20日「バスの日」を中心にサービス向上運動を展開、優良乗務員・善行者表彰を行うなど、安全で安心なバス、人と環境にやさしいバス、便利で快適なバスとして認識してもらうよう努めた。
- イ. 「岡山県道路交通渋滞対策会議」「岡山県道路利用者会議」などの会議を通じて、国、岡山県、警察本部、岡山市などに渋滞箇所の緩和対策について積極的に要請を行った。
- ウ. 「岡山県生活交通対策地域協議会」「岡山市バリアフリー推進協議会」などを通じ、バス輸送を円滑に推進するため意見を述べ、検討し、公共交通を活かした都市づくりの構築に協力した。
- エ. 「倉敷市地域公共交通会議」において公共交通網形成計画に基づく事業の推進に積極的に努めた。
- オ. 「赤磐市地域公共交通会議」に委員として参画し、地域公共交通網形成計画に基づく施策の推進に積極的に提言を行った。
- カ. 利用促進グッズ
バス利用促進として、バス事業者が参画するイベント等においてバス利用促進グッズを配布し、バス利用の啓発を行った。

（５）運輸事業振興助成交付金の適切な運用等

ア. 役員会、補助金運用委員会で協議し県の認可を得て次の事業を実施した。

事業の名称	事業金額
バス停留所整備事業	2,047,280円
輸送サービス改善事業	3,586,628円
安全運行対策事業	15,712,647円
維持運営管理事業	1,473,445円
合計	22,820,000円

イ. 日本バス協会の助成制度を次のとおり活用した。

事業名称	数量	金額	備考
人と環境にやさしいバス普及事業	2両	600,000円	ノンステップバス
〃	1両	100,000円	衝突被害軽減ブレーキ装備車

大型二種免許取得養成助成事業	20名	1,000,000円	二種免許取得
地方路線バス及び貸切バス助成事業	3社	200,000円	貸切バス助成
利子補給事業	1社	22,723円	利子補給額
合 計		1,822,723円	

(6) 陳情・要望等について

バス輸送の振興、安全性の確保、環境対策、バリアフリー対策、渋滞対策等を円滑に遂行するため、バス関係諸制度の見直しや予算及び税制などのほか、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策に関し、関係機関に次のような要望を行った。

1. 令和3年5月14日、岡山県知事あて「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による支援の要望」を提出し、コロナ禍により深刻な打撃を受けている乗合バス事業、貸切バス事業の存続に向け、令和3年4月に特別枠として創設された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）」の活用による支援を要望した。
2. 令和3年5月19日、交通関係4団体（中国地方鉄道協会、岡山県バス協会、岡山県タクシー協会、岡山県旅客船協会）連名で岡山県知事あてに「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用による支援の要望」を提出し、地域公共交通ネットワーク維持のため「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）」の活用による支援を要望した。
3. 令和3年6月24日、岡山県内27市町村長あて「新型コロナウイルスワクチンの優先接種について」を郵送で提出し、利用者が安心してバスを利用していただけようエッセンシャルワーカーであるバス乗務員に対する新型コロナウイルスワクチンの優先接種を要望するとともに、被接種者の会場への輸送のほか、待機場所・接種場所として換気性能に優れた貸切バスの活用の検討を求めた。
4. 令和3年8月4日、観光関係4団体（日本旅行業協会岡山地区委員会、全国旅行業協会岡山県支部、日本旅館協会中国支部連合会岡山県支部、岡山県バス協会）連名、で岡山県観光課長あて「修学旅行等の中止・延期に伴う地方創生臨時交付金の活用について」を提出し、修学旅行や遠足、社会科見学などの学校行事について、中止ではなく延期とすることを要望するとともに、観光庁、文部科学省連名による「修学旅行等の中止・延期に伴うキャンセル料等への地方創生臨時交付金の活用について」によりバス事業者を含む観光関連事業者への十分な支援を要望した。

5. 令和3年9月6日、観光関係4団体（日本旅行業協会岡山地区委員会、全国旅行業協会岡山県支部、岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合、岡山県バス協会）連名で、岡山県知事、岡山県議会議長あて「『おかやま旅応援割』事業の一時停止に伴うキャンセル対応に係る経費の支援について」を提出し、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により一時停止となった「おかやま旅応援割」事業について、旅行商品の造成やそれらのPRなど、既に多額の費用を投じて対応しているほか、キャンセルに伴う手続き等における経済的な損失は大きいことから、これら経費に対する支援を要望した。
6. 令和3年9月7日から10月20日にかけて、交通関係4団体連名で、岡山県知事、岡山県議会議長、岡山市長、倉敷市長あて「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加交付等による支援の要望について」を提出し、事業継続環境が深刻さを増す中、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）」の支援対象として交通事業者が明記されたことから、地域公共交通が確実に維持できるよう支援を要望した。
7. 令和3年9月7日から10月にかけて、岡山県知事、岡山県議会議長、自民党岡山県支部連合会、公明党岡山県本部、岡山県内市町村長あて「新型コロナウイルス禍におけるバス事業の存続に向けた支援要望について」を提出し、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）」の支援対象として交通事業者が明記され、追加交付されたことから、路線バス網が生活インフラとして持続するとともに、観光を支え、災害時のライフラインとなる貸切バスが安定的に維持できるよう支援を要望した。
8. 令和3年10月1日、観光関係4団体連名で、岡山県知事、岡山県議会議長あて「追加交付された地方創生臨時交付金（事業者支援分）の活用に関する陳情書」を提出し、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）」の追加交付による、修学旅行の中止・延期に対する支援及び緊急事態宣言等発出に係る観光業界（貸切バスを含む）への支援を要望した。
9. 令和3年10月18日、日本バス協会理事長あて「軽油引取税に係る関係省庁への減免措置に関する要望について」を提出し、コロナ禍によりバス事業が疲弊する中で、原油価格の上昇により燃料価格が高騰し経営環境が更に厳しくなっていることから、航空燃料税（外国人観光客誘致を目的とするもの）と同様に軽油引取税の減免措置について関係省庁に

要望するよう求めた。なお、本要望は中国ブロック内バス協会と連携し、同一步調をとったもの。

10. 自由民主党岡山県支部連合会岡山県議団の令和3年度岡山県予算編成に関する各種団体個別懇談会において、陳情書を提出。次の事項について要望した。

【予算関係】

- ・ 地域公共交通の確保維持について
- ・ 令和4年度バス関係予算の確保について
- ・ 運輸事業振興助成交付金制度の継続及び拡充について
- ・ バリアフリーの推進について
- ・ 貸切バス輸送に関する予算の拡充について
- ・ バス運転者の確保対策等の推進について

【税制関係】

- ・ 税制に関する要望について

【その他】

- ・ バス利用促進のための取組みについて

毎年継続して要望しているこれらの事項に加え、コロナ禍により今後の経営維持に不安を抱えるバス事業者への経営支援、貸切バス利用に向けた旅行支援、自動車関係諸税の負担軽減などを要望。また、最近の燃料価格高騰対策としての緊急措置を要望した。

11. 令和3年11月2日から11日にかけて、岡山市内小学校長・PTA会長、岡山市小学校校長会会長、岡山市教育長あて「修学旅行における貸切バスのご利用について（お願い）」を提出（岡山市内小学校長・PTA会長は郵送）。令和4年度の岡山市内小学校の修学旅行が鉄道利用からバス利用に振り替えられ、日程の重複により対応できなくなる可能性があることから、日程の調整などの配慮を求めたもの。
12. 令和3年11月20日から25日にかけて、地元選出の自民党バス議員連盟所属議員（逢沢先生、山下先生、加藤先生、石井先生）に「軽油価格高騰に関する要望について」を提出し、軽油価格高騰対策として、バス事業の経営維持に対する財政支援、軽油引取税の課税停止措置（所謂トリガー条項）凍結解除などを要望した。
13. 令和3年11月26日、岡山県知事あて「軽油価格高騰に関する要望について」を提出し、軽油価格高騰対策として、バス事業の経営維持に対する財政支援、軽油引取税の課税停止措置凍結解除実現に向けた支援などを要望した。

14. 令和3年12月6日、自民党税制調査会 加藤小委員長に「新型コロナウイルス感染症対策並びに軽油価格高騰対策について」を提出し、新型コロナウイルス感染症対策及び軽油価格高騰対策として、バス事業の経営維持に対する財政支援、軽油引取税の課税停止措置凍結解除などを要望した。
15. 令和4年2月14日、交通関係4団体連名で岡山県内経済6団体（岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山経済同友会、岡山県経営者協会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会）あて「新型コロナウイルス禍を見据えた公共交通利用促進のお願い」を提出し、公共交通の利用促進について要望した。

（7）その他

ア. 乗合バス車内ポスター掲示、営業所へのポスター掲示・チラシ配付等による行政等の、啓発・広報等への協力

- ・不正軽油対策ポスター
- ・クールチョイス
- ・踏切事故防止キャンペーン
- ・愛の血液助け合い運動
- ・いじめ防止啓発ポスター
- ・不正ガソリン110番に係るチラシ
- ・北方領土標語
- ・不正改造車を排除する運動
- ・ベビーカーキャンペーン
- ・高速道路等における各種規制等
- ・環境省「スマート・ムーブ」ポスター
- ・山陽女子ロードレース
- ・2020 東京オリンピック聖火リレー（公道での実施は中止）
- ・ウォームビズ県民運動
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
- ・高齢者障害者等用施設等の適正な利用の推進に係るキャンペーン
- ・選挙啓発用ポスター
- ・予防救急ステッカー
- ・冬期交通安全啓発チラシ
- ・特殊詐欺被害防止啓発ポスター
- ・横断歩道でのマナーアップ啓発ポスター

- イ. バス関係法令・通達等の周知
- ウ. 各種会議への参加
- エ. 統計資料等の作成配布
- オ. 日本バス協会、中国バス協会事業の推進及び協力
- カ. 新型コロナウイルス感染症についての情報収集と各種支援制度・助成制度等についての積極的な情報提供

※事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。